厚生労働大臣が定める掲示事項

令和8年10月1日現在

1.入院基本料に関する事項

【2階ハイケアユニット(HCU)について】

2階病棟は「ハイケアユニット医学管理料1」の届出を行っております。

1日に15人以上の看護職員が勤務しています

常時入院患者4名に対して1人以上の看護職員を配置しております。

【3階～9階の一般病棟について】

3階～9階の一般病棟は「急性期一般入院料1」の届出を行っております。

入院患者7名に対して1人以上の看護職員を配置しております。また、入院患者25名に対して1人以上の看護補助者を配置しております。

なお、病棟、時間帯、休日などで看護職員の配置が異なります。実際の看護配置につきましては、各病棟に詳細を掲示しておりますのでご参照ください。

【5階脳卒中ケアユニット(SCU)について】

5階SCUユニットは「脳卒中ケアユニット医学管理料」の届出を行っております。

常時入院患者3名に対して1人以上の看護職員を配置しております。

2.DPC対象病院について

当院は、入院医療費の算定にあたり、包括評価と出来高評価を組み合わせて計算するDPC対象病院です。

医療機関別係数1.5177
(基礎係数1.0584＋機能評価係数Ⅰ0.3133＋機能評価係数Ⅱ0.0917＋救急補正係数0.0543)

3.地方厚生局長への届出事項に関する事項

当院では下記の届出を行っております。

【基本診療料】

・急性期一般入院料1
・脳卒中ケアユニット医学管理料
・診療録管理体制加算1
・急性期看護補助体制加算(25対1 5割以上)
・地域支援、医薬品供給対応体制加算1
・超急性期脳卒中加算
・術後疼痛管理チーム加算
・電子的診療情報連携体制整備加算3
・ハイケアユニット医学管理料1
・医療安全対策加算1
・感染対策向上加算1
・夜間100対1急性期看護補助体制加算
・医師事務作業補助体制加算(40対1)
・救急医療管理加算
・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・電子的診療情報連携体制整備加算2
・早期離床・リハビリテーション加算(HCU)
・医療安全対策地域連携加算1
・指導強化加算
・夜間看護体制加算
・データ提出加算2
・排尿自立支援加算
・地域医療体制確保加算
・バイオ後続品使用体制加算

【特掲診療料】

・HPV核酸同定検査
・救急外来緊急検査対応加算2
・医療機器安全管理料1
・ペースメーカー移植術・交換術
・MRI撮影(1.5テスラ以上)
・排尿自立指導料
・麻酔管理料Ⅰ
・がん患者リハビリテーション料
・脳血管リハビリテーション料(Ⅰ)
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)(高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテル)
・酸素の購入価格
・救急搬送医学管理料2
・院内トリアージ実施体制加算
・胃瘻造設術
・ペースメーカー移植術・交換術(リードレスペースメーカー)
・CT撮影(マルチスライス16列以上)
・薬剤管理指導料
・検体検査管理加算(Ⅱ)
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・輸血管理料Ⅱ
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・心不全再入院予防継続管理料1および2
・夜間休日救急医学管理料2
・大動脈バルーンパンピング法
・婦人科特定疾患治療管理料
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5
・無菌製剤処置料
・がん性疼痛緩和指導管理料
・心大血管リハビリテーション料(Ⅰ)
・呼吸器リハビリテーション(Ⅰ)
・輸血適正使用加算
・画像診断管理加算1
・吸入麻酔又は静脈麻酔による深鎮静1

【その他】

・看護職員処遇改善評価料
・入院食事療養費(Ⅰ)
・外来ベースアップ評価料(Ⅰ)
・入院ベースアップ評価料

※管理栄養士及び栄養士によって管理された食事を適時(夕食については18時以降)適温で提供しております。

費用は下記の通りとなります。

所得区分	70歳未満		70歳以上		
	課税世帯	非課税世帯	課税世帯	低所得Ⅱ	低所得1
一食当たり	550円	270円	550円	270円	130円

4.明細書の発行状況に関する事項

当院では、医療の透明化や患者様への情報提供を積極的に推進していく観点から、領収書の発行の際に、個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書を無料で発行しております。

また、公費負担医療の受給者で医療費の自己負担のない方についても、明細書を無料で発行しております。

5.保険外負担に関する事項について

当院では、療養の給付と直接関係のないサービスとして、以下の費用を徴収いたしております。

診断書料金一覧(税込)

項目	金額	項目	金額
診断書(生命保険・自賠責等)	5,500円	傷病手当見舞金	5,500円
後遺症診断書	5,500円	雇用保険受給資格に係る病状証明書	550円
死亡診断書	5,500円	治療費領収証明書	550円
成年後見人制度診断書(2枚)	5,500円	治癒証明書	550円
障害診断書(測定があるもの)	8,800円	ストマ用装具使用証明書	550円
身体障害診断書(測定料込み)	8,800円	看護(介護)に関する証明書	550円
国民・厚生年金診断書	8,800円	証明書	550円
受診状況等証明書	5,500円	オムツ証明書	550円
健康診断書	5,500円	傷病手当金(保険点数)	100点
当院診断書	5,500円	診療情報提供書(Ⅰ)(保険点数)	250点
臨床調査個人票	5,500円		450点
特定疾病医療費給付申請書	5,500円	診療情報提供書(Ⅱ)(保険点数)	500点

その他の費用(税込)

項目	金額	項目	金額
マスク(2枚入り1箱)	100円	OS－1	209円
マスク(1枚)	50円	ダルムスペース	550円
スリッパ	330円	ダルムスペースリッチⅢ	1,650円
T字カミソリ	55円	アイソトニックゼリー	110円
キャストシュー	2,750円	エンゼル処置	15,400円
SIGNIFY	4,400円	ゆかた	3,300円
ニーブレース	7,700円	定形郵便(切手代)	郵送代に準ずる
診察券(再発行)	110円	レターパックプラス(赤)	600円
ノロウイルス検査(3~64歳)	3,300円	レターパックライト(青)	470円
平型オムツ(外来)1枚	88円	テープガードS・M(外来)1枚	242円
テープガードL・LL(外来)1枚	242円	夜パット(外来)1枚	121円

尿取りパッド(外来)1枚	77円	両面吸収シート(外来)1枚	15円
らくパンM(外来)1枚	242円	らくパンL(外来)1枚	264円
保険会社面談料	6,050円	ストマ材料(非課税)	メーカー販売価格に準ずる

入院生活に必要な入院セットレンタル、おむつにつきましては、株式会社東基に業務委託しております。

入院セットレンタル

料金	1日 550円
セット内容	病衣2～3枚/週、バスタオル 3～4枚/週、フェイスタオル 1枚/日、大判タオル1枚/日、おしぼりタオル 3枚/日 (使用枚数は全て目安になります)

紙おむつセット

紙おむつセット①	紙おむつセット②	紙おむつセット③
料金 1日385円	**料金 1日770円**	**料金 1日1,100円**
パンツタイプ 1枚/日 パンツ用パット 1～2枚/日 又は テープタイプ 1枚/日 尿取りパット 1枚/日	パンツタイプ 1枚/日 パンツ用パット 2枚/日 テープタイプ 1枚/日 尿取りパット 2枚/日	テープタイプ 2枚/日 尿取りパット 5枚/日

※使用枚数は全て目安になります。

入院環境の向上を目的として下記のサービスを、株式会社パースジャパンより日額レンタルにてご提供しております。

日額定額制レンタルサービス

料金	1日 770円
セット内容	スマートテレビ(地デジ・BS・ネット動画) 冷蔵庫 Wi-Fi

6.特別の療養環境の提供に係る基準に関する事項

特別な医療環境の提供として、通常病室(多床室)の他に個室と差額室をご用意しております。

病棟種	病室	料金	主な設備
一般病棟	508,510,607,608,708,710, 808,810,908,910号室	22,000円/日	ベッドライト、床頭台、セーフティボックス、シャワー、 独立洗面台、小型冷蔵庫、テレビ、Wifi、トイレ
産婦人科病棟	406,407,408,410号室	19,800円/日	ベッドライト、床頭台、セーフティボックス、シャワー、 独立洗面台、小型冷蔵庫、テレビ、Wifi、トイレ
	401,402,403,405号室(4床部屋)	6,600円/日	ベッドライト、洗面台、収納棚

7.医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術

対象期間:2025.1～2025.12

区分		手術名	件数
区分1に分類される手術	ア	頭蓋内腫瘍摘出術	8件
		脳動脈瘤頸部クリッピング	7件
	イ	黄斑下手術等	0件
	ウ	鼓膜形成手術等	0件
	エ	肺悪性腫瘍手術等	0件
	オ	経皮的カテーテル心筋焼灼術	41件
区分2に分類される手術	ア	靱帯断裂形成手術	14件
	イ	水頭症手術	16件
		脳血管内手術	25件
		経皮的脳血管形成術	2件
	ウ	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	0件
	エ	経尿道的尿路結石除去術	30件
	オ	角膜移植術	0件
	カ	肝切除術	1件
		膵体尾部腫瘍切除術	1件
		膵頭部腫瘍切除術	1件
	キ	子宮附属器悪性腫瘍手術等	0件
区分3に分類される手術	ア	上顎骨形成術等	0件
	イ	上顎骨悪性腫瘍手術等	0件
	ウ	バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	0件
	エ	母指化手術等	0件
	オ	内反足手術等	0件
	カ	食道裂孔ヘルニア手術	1件
		腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術	3件
	キ	同種死体腎移植術等	0件
区分4に分類される手術		腹腔鏡下ヘルニア手術	8件
		腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術	49件
		腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	3件
		腹腔鏡下試験開腹術	1件
		腹腔鏡下胃切除術	3件
		腹腔鏡下胃局所切除術	1件
		腹腔鏡下噴門側胃切除術	1件
		腹腔鏡下胃腸吻合術	1件
		腹腔鏡下胆管切開結石摘出術	11件
		腹腔鏡下胆嚢摘出術	104件
		腹腔鏡下腸管癒着剥離術	9件
		腹腔鏡下虫垂切除術	46件
		腹腔鏡下小腸切除術	4件
		腹腔鏡下結腸切除術	5件
		腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	28件
		腹腔鏡下直腸切除・切断術	17件
		腹腔鏡下内精巣静脈結紮術	1件
その他の区分	ア	人工関節置換術	37件
	イ	乳児外科施設基準対象手術	0件
	ウ	ペースメーカー移植術	36件
		ペースメーカー交換術	6件
	エ	冠動脈・大動脈バイパス移植術	28件
		体外循環を要する手術	16件
	オ	経皮的冠動脈形成術	12件
		経皮的冠動脈ステント留置術	139件

8.電子的診療情報連携体制整備加算

当院は下記の体制を整備しており、電子的診療情報連携体制整備加算の届出を行っております。
(1)医師等が診療を実施する診察室等において、オンライン資格確認等システムにより取得した診療情報等を活用して診療を実施しております。
(2)マイナ保険証を促進する等、医療DXを通じて質の高い医療を提供できるよう取り組みを行っております。
(3)算定した診療報酬の区分・項目の名称及びその点数又は金額を記載した詳細な明細書を患者に無料で交付しております。

9. 後発医薬品(ジェネリック医薬品)及びバイオ後続品(バイオシミラー)使用推進について

当院は、厚生労働省の方針に従い、後発医薬品及びバイオ後続品の使用に積極的に取り組んでいます。
医薬品の採用に当たっては品質確保および十分安全な情報提供等をもとに、当院薬事委員会の審議を経て、有効且つ安全な製品を採用しております。
なお医薬品の供給状況が不安定な場合は、医薬品の変更など適切に対応、説明をさせていただきます。

10.一般名処方について

当院では、後発医薬品の使用促進を図るとともに、医薬品の安定供給に向けた取り組み等を実施しております。
後発医薬品のある医薬品について、特定の医薬品名を指定するのではなく、薬剤の成分をもとにした一般名処方(※一般的な名称により処方箋を発行すること)を行う場合があります。一般名処方によって特定の医薬品の供給が不足した場合であっても、患者様に必要な医薬品が提供しやすくなります。

※一般名処方とは

お薬の「商品名」ではなく、「有効成分」を処方箋に記載することです。そうすることで供給不足のお薬であっても有効成分が同じ複数のお薬が選択でき、患者様に必要なお薬が提供しやすくなります。

11.長期収載品の処方に関する事項

後発医薬品(ジェネリック医薬品)があるお薬で、先発医薬品の処方を希望される場合は、特別の料金をお支払いいただきます。

詳細は下記リンクをご覧ください。
参考:厚生労働省ホームページ「後発医薬品のある先発医薬品(長期収載品)の選定療養について」
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_39830.html

12.院内トリアージについて

時間外、休日、深夜の時間帯で診察を行う患者様に、看護師又は医師があらかじめ病状を確認させて頂き、診察の優先度を決めさせて頂きます。(院内トリアージ)
診察の順番は、来院された患者様の緊急度や重症度によって決定するものであり、受付した順番で診察とは限りません。
従って、場合によっては待ち時間が長くなる場合がございますのでご了承ください。